

バイオリサーチセンター指定管理候補者の選定結果について

地方自治法の改正により指定管理者制度が導入されたこととともない、新津支所地域振興課バイオリサーチパーク推進室所管の新潟市バイオリサーチセンターについて、施設の設置目的をより効果的・効率的に達成するため、平成17年4月8日より事業者を公募しておりましたが、以下の通り候補者を選定しました。

施設名	新潟市バイオリサーチセンター
所在地	新潟市東島316番地2
指定管理候補者選定委員会	委員長 馬場欣一（新津商工会議所 会頭） 副委員長 鈴木伸作（新潟市産業経済局長） 委員 結城洋司（株新潟ティーエルオー代表取締役社長） 委員 尾崎千尋（新潟市商工労働部長） 欠席 委員 松井 弘（新潟市新津支所長） 欠席
指定管理者（候補者）	新潟バイオリサーチパーク推進機構 株式会社 代表者 代表取締役社長 栗山 清 住 所 新潟市蒲ヶ沢142番地2
指定期間（予定）	平成17年7月1日～平成22年3月31日
選定理由	<p>新潟市バイオリサーチセンターの指定管理者選定にあたっては、2社から応募があり、それぞれ具体的な提案をいただいた。同センター指定管理候補者選定委員会において、応募者から提出を受けた事業計画書等について、同センターの管理運営の方針、利用者確保の対策、利用率及び年間収入見込、支出計画、管理運営の体制及び運営の中心者等を選定基準に基づいて総合的に評価し、選考を行った。その結果、以下の理由により上記の団体が最適であるとして選定した。</p> <p>事業計画については、候補者が施設の目的を十分に理解しているとともに、積極的な施設運営への意欲があり、利用者確保の対策にも具体性・有効性を持ち、研究開発における産学の連携を推進し得る体制・内容であった。</p> <p>また、同センターの活用を図る上で、候補者は産学連携研究開発コーディネート業務に実績があり、それを支える地元企業の協力体制も既に有していることが、施設の安定した運営につながる利用率の提案にも表れており、他社に比べて総合的に優れており選定にいたった。</p> <p>なお、上記の委員会で決定された選定基準・評価結果は別表のとおりである。</p>
スケジュール	<p>公募要領配布期間（平成17年4月8日～28日）</p> <p>公募説明会（平成17年4月18日）</p> <p>応募登録の申込・質疑受付（平成17年4月8日～28日）</p> <p>提案事業計画書等の受付期間（平成17年4月8日～28日）</p> <p>指定管理候補者選定委員会（平成17年5月10日）</p> <p>今後、市議会での審議・議決を経て、指定管理者に指定される。</p>
所管部署（問合せ先）	新潟市新津支所地域振興課バイオリサーチパーク推進室 担当者 坂上 TEL：0250-24-2111 内線382 E-mail: chiiki.ni@city.niigata.lg.jp

別表(選定基準・評価結果)

(数値は各委員採点の平均値)

評価項目		配点	候補者	A社
事業者	公の施設の管理運営を安定かつ継続して行える能力を有しているかなど。	5.00	4.00	3.00
経営理念	公の施設の指定管理者として、ふさわしい経営理念を有しているかなど。	5.00	4.00	3.33
申請動機	目的を理解し、有効的な施設運営の意欲が感じられるかなど。	5.00	4.67	3.33
事業計画 (1) 管理運営方針	施設の設置目的に則した運営方針であるか、また適正な維持管理を行えるかなど。	5.00	3.67	3.33
事業計画 (2) 利用者確保	産学の連携を推進し得る内容か。また利用者確保の対策は具体性・有効性があるかなど。	5.00	4.67	3.33
事業計画 (3) 利用率，収入見込	利用率は(1),(2)からして適正か。また年間収入見込は利用率からして適正かなど。	5.00	4.00	2.33
支出計画	施設の管理運営費用として適正か。また経費の縮減は図られているかなど。	5.00	3.33	3.00
管理運営体制	適正な組織・人員体制か。また必要な場合、速やかにバイオセンターで勤務が可能かなど。	5.00	4.00	3.67
運営の中心となる人物	センター長はバイオテクノロジーに精通した研究者で産学連携をコーディネートできるか。また分析技術者は専門的な知識を有しているかなど。	5.00	4.33	3.67
個人情報の管理	個人情報の適正な取扱は確保できるかなど。	5.00	4.00	3.67
平均		5.00	4.07	3.27